

子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)について知ろう

子宮頸がんは、子宮の出口に近い部分にできるがんで、若い世代の女性のがんの中で多くを占めます。日本では、毎年約1.1万人が罹患し、約3,000人が亡くなっており、20代から増え始め、30代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人が年間約900人います。

ウイルス感染でおこる子宮頸がん

HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。このウイルスは、女性の多くが「一生に一度は感染する」といわれるウイルスです(一度でも性的接触の経験があれば誰でも感染する可能性があります)。感染するとほとんどの人は、時間がたつと検査では見つからなくなりますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。

HPVワクチンについて

接種	効果	リスク
定期接種として小学校6年生～高校1年生相当の女子を対象に実施しています。定期接種のため、費用は無料です。HPVワクチンは一定の間隔をあけて、合計2～3回の接種が必要です。接種する年齢により、接種のタイミングや回数が異なります。高千穂町では、中学1年生相当の女子に対し、4月に予診票を郵送しています。	HPVの中には、子宮頸がんをおこしやすい種類(型)のがあります。定期予防接種で使用しているワクチンは、9価ワクチン(シルガード®9)です。子宮頸がんの原因の80～90%を防ぎ、感染予防効果を示す抗体は、少なくとも12年維持される可能性がこれまでの研究で分かっています。	筋肉注射という方法で接種します。接種部位の痛みや腫れ、赤みなどの症状がおこることがあり、頻度は不明ですが、重い副反応(アナフィラキシー、ギランバレー症候群等)が起こることがあります。ワクチンが原因かわからないものも含めて、接種後に重篤な症状として報告があったのは、1万人あたり約2人です。接種後に気になる症状が出たときは、医療機関を受診してください。

HPVワクチン(シルガード®9)の一般的な接種スケジュール



子宮頸がんを苦しまないためにできること

Pointo 1 HPVワクチンでHPVの感染を予防しましょう。

Pointo 2 子宮頸がん検診を受けましょう

20歳になったら、子宮頸がんを早期に発見するため、子宮頸がん検診を受けることが大切です。

HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は厚生労働省のホームページをご覧ください。



HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。



参考文献・引用 厚生労働省 HP 資料より

アピアランスケアサポート助成事業の対象が拡大されました。

がん患者の方の治療による精神的・経済的負担の軽減や療養生活を支援するため、ウィッグや乳房補整具等を必要とする方に、購入費用の一部を助成します。

【助成対象品】(令和8年4月1日以降に購入した補整具等)

1. ウィッグ等 ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子
 2. 乳房補整具等 人工乳房(乳房再建術で挿入するものを除く)、補正パッド、補整下着、専用入浴着、弾性着衣(弾性ストッキング、弾性スリーブ、弾性グローブ)
- ※ただし、購入のために要する交通費、送料、代金決済手数料等の諸費用及び附属品、ケア用品、ウィッグのサイズ調整・カット又はセットに係る費用等及び申請に必要な証明書等に係る費用については対象外

【助成金額】(1人につき、それぞれ1回限り)

1. ウィッグ等の購入額が20,000円のいずれか低い額
2. 乳房補整具等の購入額が10,000円のいずれか低い額

【申請期限】

ウィッグ、補整具等を購入した日から1年以内

【申請の手続き】

医療用ウィッグ等を購入した日から1年以内に申請してください。申請書等は、げんき荘の窓口を設置または町のホームページからダウンロードできます。



带状疱疹ワクチン予防接種のお知らせ



【定期接種対象者】

- ①年度内に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方
- ②60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活が困難な方

【対象期間】 令和8年4月1日～令和9年3月31日

【自己負担額等】

ワクチンの種類	接種回数	接種スケジュール	自己負担額
生ワクチン	1回(皮下接種)	—	2,500円
組換えワクチン	2回(筋肉内接種)	2か月以上の間隔を置いて2回接種	6,500円/回

※生活保護世帯は無料(生活保護受給証明書が必要)

【接種できる医療機関】

町内医療機関もしくはかかりつけ医(事前に医療機関にお問い合わせください)

※県外医療機関で接種される場合は、保健センターで事前申請・接種医療機関への依頼書の発行が必要です。接種前に必ずご連絡ください。

!!注意!!

- ・組換えワクチンの接種を希望される場合は、対象期間内に2回目の接種が完了できるよう、令和9年1月中には1回目の接種を済まされてください。令和9年4月以降は全額自己負担となります。
- ・令和8年10月からはインフルエンザ・新型コロナワクチンの予防接種も開始予定のため、受診者の増加が予想されます。早めの接種をお勧めいたします。

※予防接種の詳細につきましては、町のホームページをご覧ください。